

宮城県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

●宮城県の公立高校入試(全日制)は、第一次募集の1回ですが、共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜を行います。

●第一次募集

・共通選抜…調査書・学力検査の結果に基づき選抜

(募集割合は、募集定員の50~90%)

・特色選抜…調査書・学力検査の結果および面接等の結果に基づき選抜

(募集割合は、募集定員の10~50%)

※ただし、共通・特別ともに体育・美術に関する学科は10~90%。

	出願期間	入試日	合格発表日
第一次募集	2/15(火)~18(金)	3/4(金)	3/16(水)
第二次募集	3/17(木)~22(火)	3/23(水)	3/23(水)・3/24(木)

●出願は、原則1校1課程、1学科・コースに限ります。

ただし、複数の学科・コースを設置する学校の場合、同一高校の他の学科・コースを第2志望とすることも出来ます。

また、第二次募集は、第一次募集の合格発表時点で募集定員が満たされていない学校の課程、学科・コースで実施されます。

共通選抜

●共通選抜は、調査書と学力検査の結果を基に選抜を行います。

調査書の点数と、学力検査については以下のように扱われます。

①学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科(各50分・各100点)
②調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定(3年間分) (3年間の5教科〔国・数・英・理・社〕の評定値の合計) + (3年間の4教科〔音・美・保健体育及び技・家〕の評定値の合計×2) = 195点
③体育及び美術に関する学科では、実技の評価を選抜資料に加えることが可能。	

・調査書点と学力検査点の比重は、各高校が募集単位ごとに以下の割合から定めます。

比 重	調査書重視		同等	学力検査重視	
調査書：学力検査	7：3	6：4	5：5	4：6	3：7

特色選抜

- 特色選抜は、調査書と学力検査の結果および、それぞれの特色に応じた面接・実技・作文等の結果を基に選抜を行います。
調査書の点数、学力検査等については以下のように扱われます。

●選抜資料

①学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科（各50分） ・教科ごとに各学校が定めた倍率により得点を算出し合計点とする。 倍率は0.25～2.0まで。
②学校独自検査	各学校の裁量で面接，作文を実施できる ・体育，美術科は実技を実施
③調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定 ・教科・学年ごとに各学校が定めた倍率により評定値を算出する。 倍率は、5教科[国・数・英・理・社]は0.25～2.0， 4教科[音，美，保健体育，技・家]は0.5～4.0まで。

選抜方法

- 合否判定は、共通選抜と特色選抜でそれぞれ方法が異なります。

共通選抜（相関図方式）	特色選抜（加点方式）
<p style="text-align: center;">高 調査書点 低</p> <p style="text-align: center;">合格領域</p> <p style="text-align: center;">高 学力検査点 低</p>	<p style="text-align: center;">高</p> <p style="text-align: center;">学力検査点 + 調査書点 + 実施した検査の点</p> <p style="text-align: center;">低</p> <p style="text-align: center;">審査対象</p> <p style="text-align: center;">特色定員の 120%～200%</p>
<p>調査書点と学力検査点の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。各校で定めた調査書点と学力検査点の比重に基づき、両方の満点により近い者から審査を行う。</p>	<p>合計点の高い者から、各校が定めた審査対象範囲内の者を対象に、調査書の評定以外の記載事項を活用して判定する。審査対象となる範囲は、特色選抜で募集する人数の120～200%の範囲で設定する。</p>

- 受験者は共通選抜と特色選抜、両方での判定が行われます。受験者がどちらかの選抜を選択する必要はありません。また、共通・特色の選抜を行う順序・方法等は各学校により決定され「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表されます。
- 第2志望の選抜は原則として募集定員が満たされていない学科・コースにおいて、共通選抜の方法で行われます。